LODチャレンジ2019ミートアップ(LT) MyDataPLR活用構想

株式会社 数理先端技術研究所 2019/7/5 生島高裕

MyDataのブレイク

MyData Japan 2019

Mydata FBグループ

MyData Global

「MyData Global」は、2018年10月11日に設立され、「個人がパーソナルデータを自分自身のために使い、自分の意思で安全に共有できるようにする」という個人中心のMyDataの考え方を世界に発信していく組織

個人中心の社会への第1歩!!それはデータから!!

MyDataの3要件

MyDataを集める? 情報銀行に預ける? この2派があるが、個人的には前者、後者は他人任せの管理になる。 と言うことは、考えない人間、物言わぬ人間を作る可能性があるため。

1.アクセスコントロール

(利用制限)

2.トレーサビリティ

(追跡可能性)

3.ポータビリティー

(移動可能だけでなく、特に「データポータビリティー権」: 国、企業のMyDataを自分自身に返すこと)

開発事例案:認知行動療法(ライフログそのもの)

精神疾患をターゲットにすると、全てのライフログが必要になる。 自分に関するオープンデータとの融合も模索する。

以下資料:

ホーム > 政策について > 分野別の政策一覧 > 福祉・介護 > 障害者福祉 > 心の健康

うつ病の認知療法・認知行動療法治療者用マニュアル

うつ病の認知療法・認知行動療法(患者さんのための資料)

<u>こころのスキルアップ・プログラム 認知療法・認知行動療法の視点から</u>活動記録表

<u>自動思考記録表(コラム表) - 記入用 -</u>

橋田浩一先生のPersonaryの講習会(7月9日)

MyDataとPLRそしてプラットフォームPersonaryの講習会(7月9日)ご案内

MyData: 本人主導のパーソナルデータ活用

PHR: Personal Health Record

PDS: Personal Data Store

PLR: Personal Life Repository

PLR統合アプリ(Personary)

自分のデータを使って自分のデータサイエンスを行う動きです。

https://www.assemblogue.com/apps/PLRintro.pdf

PersonaryのAndroid正式版とiOS正式版

PersonaryのAndroid正式版とiOS正式版が揃いました。

https://www.assemblogue.com/apps/PLR2.html この機会に下記のような講習会を開きます。

日時: 7月9日15:00~18:00

会場: 東大工学部2号館10階の電気系会議室5

内容:

- ●オントロジーを作って Personaryで使う スプレッドシートを作って設定するだけでユースケースに応じた PLRアプリを作る方法。
- ●他のシステムとPLRを連携させる 特に、データ形式の相互変換のための スプレッドシートの作り方。

参加者の事前準備

参加者はノートPC(Windows、Mac、Linux)を持参のこと 参加者による事前の準備の詳細: PlayストアまたはApp StoreからPersonaryをインストールし、 https://www.assemblogue.com/apps/Personary.pdf を参照してPLRアカウントを設定しておいて下さい。

PLRアカウントは2つ必要ですが、他の参加者と共有しても構いません。

plr-dist

https://drive.google.com/drive/folders/0B9pvz6luOetOVGp3c2NyX2dZWmM?usp=sharing

のJava/osscon/

のconfig.propertiesとosscon-all.jarをダウンロードし、 READMEを読んでconfig.propertiesを適宜修正しおいて下さい。

会場はWiFiが使えますが、osscon-all.jarのダウンロードには時間がかかるので、 予めダウンロードしておいて下さい。

当日はconfig.propertiesとosscon-all.jarを収納し、Javaプログラムを動かせるPCを持参して下さい。

内容

Personaryの使い方を少し説明した上で plr-dist/schemataの中のリソースを参照しつつ 各自がオントロジーを作って上記の osscon-all.jarでそのオントロジーを PLRにデプロイして使ってみる、

というところまでやりたいと思います。

今後どんどんハッカソン行っていく予定です!!

ご清聴ありがとうございました